

## 日銀短観(2011年12月調査)予測

- (1) 12月15日公表予定の日銀短観(2011年12月調査)では、海外経済の減速、円高、タイの洪水被害などを背景に、業況判断DIが総じて悪化すると予想(図表1、2)。
- (2) 業種別(大企業)にみると、製造業は▲2%ポイントと、2四半期ぶりのマイナス転化(悪化超)を予想。震災からの復旧が一服するなか、海外経済の減速や円高が生産活動の重石となり、化学、機械全般、電気機械などでDIが低下する見込み。一方、自動車はタイの洪水の影響を受けたものの、震災からの回復の動きが続いていることから上昇する見込み。非製造業では、回復の遅れが目立っていた宿泊・飲食サービスなどでDIが上昇する見込み。もともと、卸・小売などで改善が一服したとみられることから、DIは+1%ポイントと、前回から変化なしを予想。
- (3) 2012年3月を展望した先行き見通しDI(大企業)は、復興に向けた動きにより、景気の押し上げが見込まれるものの、海外経済の減速や円高が引き続き企業活動の重石となり、製造業で▲3%ポイント、非製造業で0%ポイントと、わずかに低下すると予想。

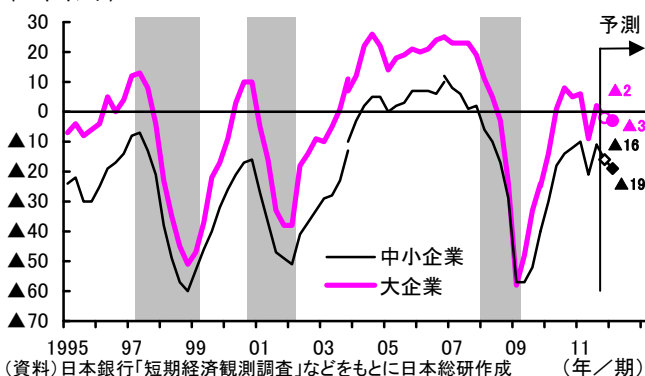
(図表1)業況判断DI(「良い」-「悪い」)  
(%ポイント)

		(実績)		(当社予測)	
		2011年 6月	2011年 9月	2011年 12月	先行き
大企業	製造業	▲9	2	▲2	▲3
	非製造業	▲5	1	1	0
	全産業	▲8	1	▲1	▲2
中堅企業	製造業	▲12	▲3	▲7	▲9
	非製造業	▲17	▲8	▲9	▲10
	全産業	▲15	▲6	▲8	▲10
中小企業	製造業	▲21	▲11	▲16	▲19
	非製造業	▲26	▲19	▲21	▲22
	全産業	▲24	▲16	▲19	▲21
全規模	製造業	▲15	▲5	▲10	▲12
	非製造業	▲20	▲12	▲14	▲15
	全産業	▲18	▲9	▲12	▲14

(資料)日本銀行「短期経済観測調査」などをもとに日本総研作成

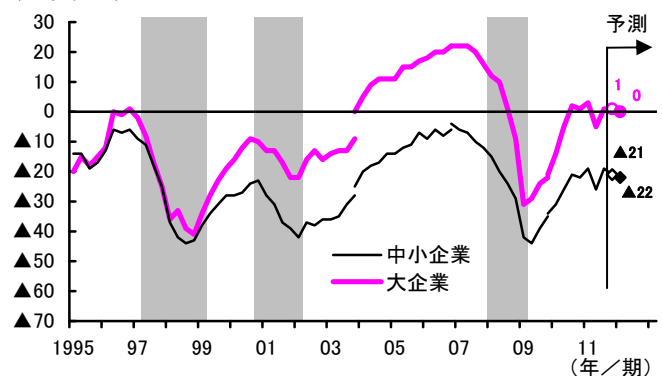
(図表2)業況判断DIの推移

【製造業】  
(%ポイント)



(資料)日本銀行「短期経済観測調査」などをもとに日本総研作成  
(注1)○、◇印は今回予測値。塗りつぶしは先行き(12月)予測値。  
(注2)シャドー部は景気後退期を表す。

【非製造業】  
(%ポイント)



- (4) 2011年度の設備投資計画（土地投資額を含み、ソフトウェア投資額を除く）は、全規模全産業ベースで前年度比+0.2%と、前回調査対比ほぼ変わらずを予想（図表3）。
- (5) 業種別にみると、大企業では製造業が前年度比+8.7%（前回調査対比▲1.2%）と下方修正を予想。海外経済の減速や円高により企業の設備投資マインドは慎重化。非製造業は同▲0.6%（変わらず）を予想。
- (6) 中小企業では初回調査（3月）以降、期を追って設備投資計画が上方修正される傾向があることを踏まえ、全産業で前年度比▲15.3%と、前回調査対比+3.0%の上方修正を予想。もっとも、中小企業の収益環境改善の兆しがみられないなか、海外経済の減速や円高がさらなる重石となるため、修正幅は例年対比で小幅にとどまる見込み。

(図表3)設備投資計画  
(土地投資額を含みソフトウェア投資額を除く、前年度比)  
(%)

		(実績)		(当社予測)	
		2011年9月		2011年12月	
		2010年度	2011年度	2011年度	<修正率>
		(実績)	(計画)	(計画)	
大企業	製造業	▲ 3.5	10.1	8.7	<▲ 1.2>
	非製造業	▲ 1.0	▲ 0.6	▲ 0.6	< 0.0>
	全産業	▲ 1.9	3.0	2.5	<▲ 0.4>
中堅企業	製造業	0.6	21.8	21.6	<▲ 0.2>
	非製造業	▲ 8.9	▲ 5.0	▲ 4.6	< 0.4>
	全産業	▲ 5.7	4.7	4.9	< 0.2>
中小企業	製造業	9.8	3.7	5.1	< 1.4>
	非製造業	▲ 1.6	▲ 29.0	▲ 26.0	< 4.2>
	全産業	2.0	▲ 17.7	▲ 15.3	< 3.0>
全規模	製造業	▲ 1.1	10.9	10.1	<▲ 0.7>
	非製造業	▲ 2.3	▲ 5.4	▲ 4.9	< 0.5>
	全産業	▲ 1.9	0.2	0.2	< 0.1>

(資料)日本銀行「短期経済観測調査」などをもとに日本総研作成